

個別事業費	25,735 千円
交付金額	11,250 千円

地域の実情と課題

仕事が減り生活が苦しい、社会とのつながりが持てない女性や、不安や悩みが複合的となり自分の状況や課題がうまく整理できない女性が、相談窓口も分からず社会的に孤立した状態に陥っており、こうした女性への対応が喫緊の課題となっていることに加え、既に相談窓口につながった女性の自立支援も継続して実施する必要がある。

また、女性の就労機会の減少は深刻であり、社会的に孤立した女性を早期に見つけ出して適切な支援につなげることが引続き急務とされている。

事業の特徴

①相談支援事業

受託者がアウトリーチ(訪問支援)等を実施、潜在的な支援対象者を見つけ出すとともに、対象者それぞれの課題の切り分けを行った上で支援計画を作成、適切な行政窓口や民間団体に同行支援を行った。

また、生活必需品(生理用品等)の提供を行うとともに、支援スタッフや他の当事者とのつながりが持てる居場所の提供を行う。

②人材育成事業

生活困窮や社会から孤立した女性への支援経験のあるスタッフが、県及び市町村の女性相談員、他の民間団体の支援従事者に対し、支援事例の共有や相談者への援助技術の向上を目的とした研修を実施し、スキルアップを図った。

事業の効果

- ・ 女性からの相談受付件数: 4,081件
- ・ 研修参加者による有益度の評価: 1回目90.9%、2回目95.5%、3回目93.8%
- ・ 研修参加人数: 1回目100人、2回目59人、3回目50人計209人

目的・目標

- ・ 同行支援件数: 577件
- ・ 相談受付件数: 2,798件
- ・ 研修参加者による有益度の評価割合: 97%
- ・ 研修参加人数: 300人
- ・ LINE相談件数: 500件

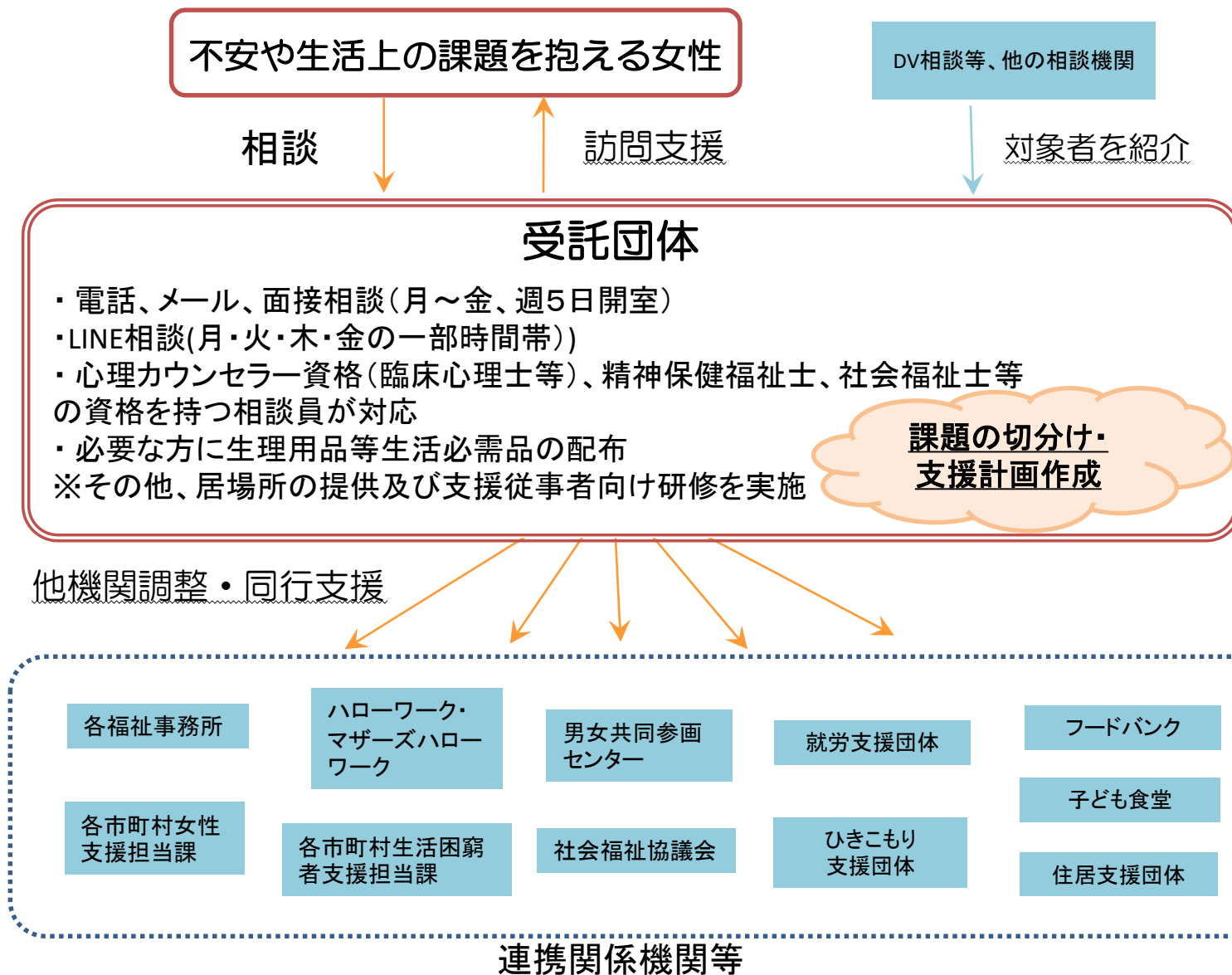
連携団体

- ・ (一社)インクルージョンネットかながわ【受託団体】
- ・ かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク 各所属団体
- ・ 市町村の女性支援・生活保護担当課
- ・ ハローワーク、マザーズハローワーク 等

今後の課題

- ・ 同行支援について、令和4年度までは、他機関/所内打合せ・会議と合計した数字で標記していたが、令和5年度の報告数から同行支援のみで行うことにした。また、令和6年度からは同行支援先を明確にして関連機関との連携強化を図る。
- ・ 相談者の年代別内訳を分析すると、10代・20代の若年女性の割合が少ないが、昨年より2.2倍多くの相談を受けることができた。今後はSNSを活用した相談方法の拡充等、若年層が相談しやすい体制づくりとして、早期発見事業に力を入れていく。
- ・ 人材育成事業については、周知広報不足により参加人数が目標を下回ったため、開催方法や広報の方法に工夫が必要である。
- ・ 令和6年4月1日施行の新法により、対象が広がった様々な困難を抱える女性の支援を継続的に実施するため、当事業の広告宣伝・周知を行う必要がある。

○ つながりサポート事業の概要



○ つながりサポート事業の概要【ポンチ絵】

複合的な困難を抱える女性に対応するため、民間支援団体の知見を活用し、**困難を抱える女性の早期発見から相談、専門相談窓口への付き添い等、課題解決に向けて、寄り添った支援を実施**する。

相談から付き添いまで、必要な支援につなげる女性のための総合相談窓口を設置

アウトリーチ



相談に至っていない方の
早期発見

私はどこかに相談していいの？
でも、どこに何をどうやって？
そもそも何が問題だろう…？



同行



行政窓口、専門機関の
相談に同行

相談

電話、メール、SNS、
面接、広い間口で対応



課題の切分け



相談者の課題を切り分けて整理
した上で、支援メニューを作成

居場所の提供



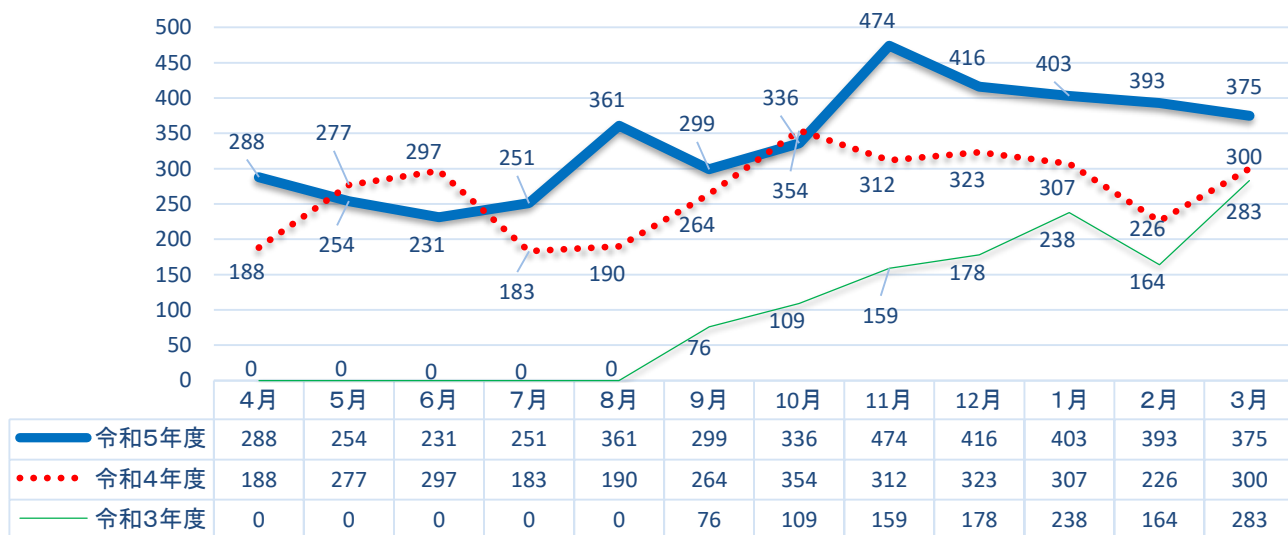
支援者や他の当事者とな
がりが持てる居場所を提供

各種施策に基づく専門相談（支援）へ

○ かながわ女性の不安・困りごと相談室

「かながわ女性の不安・困りごと相談室(かながわ女性相談室)」を設置し、県内の不安や生活上の課題を抱える女性から、多くの相談を受け付けた。

不安や課題を抱える女性からの
相談件数の推移(令和3年8月～)



— 令和5年度 令和4年度 — 令和3年度

かながわ女性相談室です！
(かながわ女性の不安・困りごと相談室)

かながわ女性の不安・困りごと相談室

●相談は無料です。
●相談室 月曜日～金曜日 9:00～17:00
土・日・祝・年末年始は 当番員

住居探しを手伝ってほしい
外出自粛...社会とのつながりがなくなってさびしい...
先んずき不安...
生理用品が欲しい...
制度や専門家を紹介してほしい...

電話で相談 0467-46-2110
LINEで相談がまだ! LINEの相談受付時間は、相談室の受付時間と同じです。
メールで相談 kanagawa@inclusion-net.jp
訪問で相談 予約制

相談室で相談 相談室の受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:00
相談室の受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:00
相談室の受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～17:00

045-210-3640

相談室チラシ



居場所の様子



相談室の様子

○ 支援従事者向け研修

オンライン開催により、女性相談員や他の民間団体の支援従事者に対する研修を実施。
支援現場の課題共有や相談対応のロールプレイ及び少人数のグループディスカッションなどを行い、参加者の有益度が高い研修となった。

【第1回研修】

・実施日：令和5年9月15日（金） ・研修テーマ：「女性のために新しい法律ができた」

【第2回研修】

・実施日：令和5年11月15日（水） ・研修テーマ：「女性の相談・居場所」

【第3回研修】

・実施日：令和6年3月15日（金） ・研修テーマ：「新法施行にあたり、様々な機関との連携・協働の在り方」

開始までしばらくお待ちください

神奈川県つながりサポート事業
令和5年度（2023年度）第2回支援者研修

女性の相談・居場所

主催：神奈川県 × （一社）インクルージョンネットかながわ

マイクは、ミュートにしてください。

スピーカービューが
お勧めです！

名前の変更をお願いします。

① 参加者アイコンをクリック。
② 詳細をクリック。
③ 名前の変更をクリック。

カメラは、オンでもオフでもOK！

ON
OFF

操作がわからない方は、ヘルプで水玉マークをクリックするか、0467-22-1111までお問い合わせください。

ブレイクアウトセッション①

① 話す内容は…
・自己紹介
・報告の中で印象に残ったことを、話し合います。

② ルーム番号を
おぼえておいてください。
画面上部に表示されます！

③ 報告者を
決めてください。

時間は、
15分程度です。

神奈川県つながりサポート事業 令和5年度（2023年度）第2回支援者研修

「女性の相談・居場所」

2023年11月15日（水）14:00～16:00 Zoom開催

開会・挨拶 神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

第1部 居場所事業を行っている団体からの報告（14:00～15:00）
 (1)かながわ女性相談室
 「カフェぶらっと、4階倶楽部」
 (2)NPO法人ピアサポートネットしずや
 「多様な居場所」

第2部 参加者による意見交換（15:00～16:00）
 (1)報告をもとにした意見交換（ブレイクアウトセッションによるグループ討議）
 (2)全体セッション
 (3)「居場所」の役割等についての意見交換（〃）
 (4)全体セッション

開会（16:00）※終了後、アンケートにご回答ください。

ブレイクアウトセッション②

① 話す内容は…
・こんな「居場所」があったらいいのに
・「居場所」の役割についてを、話し合います。

② ルーム番号を
おぼえておいてください。
画面上部に表示されます！

③ 報告者を
決めてください。

時間は、
25分程度です。

参加者アンケート結果

	第1回研修	第2回研修	第3回研修
大変よかった	33.4%	40.9%	50.0%
よかった	57.6%	54.6%	43.8%
どちらでもない	0%	0%	0%
やや不満	3.0%	4.5%	6.2%
不満	0%	0%	0%

←研修の内容